

## <金標準、中東情勢の不確実性を織り込む値動き・・・>



(出所：オアシス)

中東情勢でパレスチナ・ガザ地区を実効支配するイスラム原理主義者ハマスがイスラエルを攻撃し、多数の犠牲者を出した事からイスラエルはガザ地区からのハマス排除の地上作戦に突入する動きを高めており、中東における地政学的なリスクの高まりで逃避の需要が強まり、NY市場で1900ドルを回復している。特に週末はイスラエル軍がガザ地区に歩兵部隊と戦車部隊で奇襲を行ない、空爆作戦から地上作戦へ移行している。またイラン外相はイスラエルに対する「新たな戦線」が開かれるかはガザ地区におけるイスラエルの行動にかかっていると警告を発しており、市場はイスラエルとイランの戦争に拡大する懸念を織り込む動きを見せ、NY市場で58ドル高を演じ金標準先物も229円高と大きく反発している。ただ過去の中東戦争では、1980年イラン・イラク戦争、1991年の湾岸戦争、2006年のレバノン侵攻では開戦1日目は大きく上昇するが、1ヵ月後は7%近く反落しており、今回もガザ地区に限定された戦争であれば、目先の高値を試した可能性は高いと思える。

### <テクニカル>

金標準先物の日足のMACDやRCIでは、MACDはMACDが上昇し、シグナルも上昇している。RCIでも短期が上昇し、長期は切り上げるなど強気を示唆している。ただ日足が10日移動平均線の位置する8887円から乖離した状態であり、9000円までの調整安に注意と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,270,000 円(2023 年 10 月 16 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 84,480 円(2023 年 10 月 16 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会が開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>